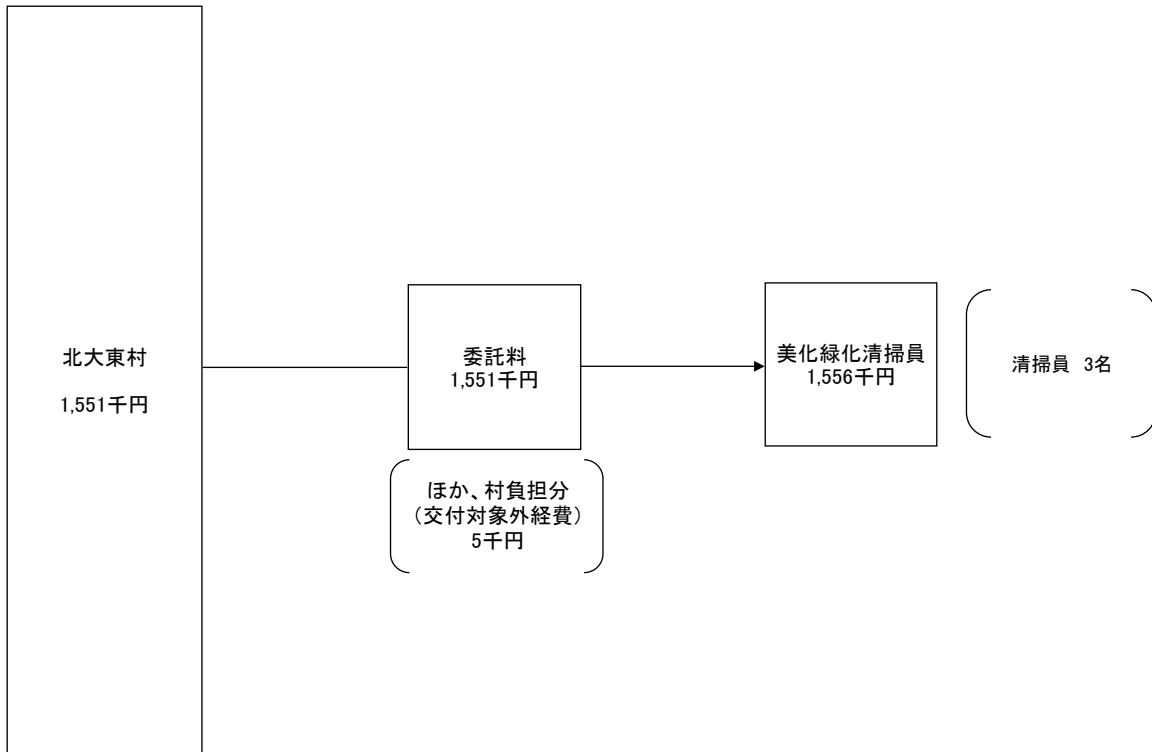


市町村名	北大東村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	観光アクセス道路美化緑化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化の実施を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5000	3,500	3,000	3,000	2,500
		(b) 予算現額	2497	2,500	3,000	3,207	1,551
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,503	▲ 1,000	0	207	▲ 949
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		2,497	2,500	3,000	3,207	1,551
	B. 執行済額		2,368	1,753	2,568	3,098	1,551
	うち交付金充当額		1,894	1,402	2,054	2,478	1,240
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.8%	70.1%	85.6%	96.6%	100.0%
予算の状況の説明		作業員の体調不良に伴い、949千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	アクセス道路及び周辺道路の美化実施: 清掃員4名	目標	(美化実施: 清掃員2名)	(美化実施: 清掃員4名)	(美化実施: 清掃員4名)	(美化実施: 清掃員4名)	
		実績	美化実施: 清掃員4名	美化実施: 清掃員5名	美化実施: 清掃員5名	美化実施: 清掃員3名	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	継続して契約していた清掃員の体調不良により目標より1名少ない3名の清掃員の雇用となったが、村職員で不足分のアクセス道路及び周辺道路の美化を実施することで、観光客等の受入体制が整備できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		97%	93%	83%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	観光アクセスに重要な道路や周回道路の修景及び美化を重点的に実施する事により、観光客等の受入体制の整備・誘客促進・観光振興が図られたかをアンケートにより検証を行い、83%の方から魅力的な景観形成が図られたとの回答が得られた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	現在契約を行っている者の高齢化を解消するため柔軟な契約形態を取り入れ清掃員の確保に努めたが、島内のマンパワーが不足しており清掃員の確保が十分にできないことが課題となった。	限られた清掃員でも修景及び美化を行えるように機械化を進めて作業効率を上げる必要がある。
今後の取り組み方針		
清掃で機械等を使用し作業効率を上げ、観光アクセスに重要な道路や周回道路の改修及び美化を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,556	1,551	1,240	311	5



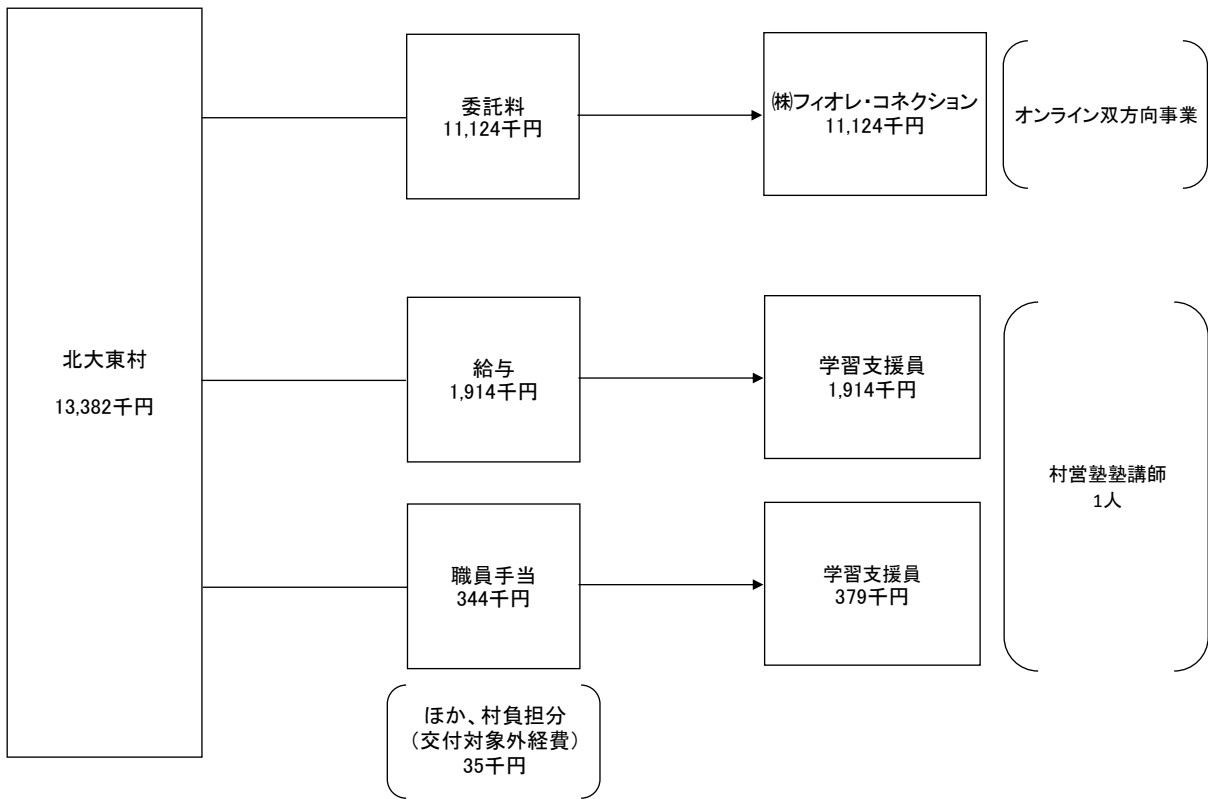
資金の流 点検 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託職員については、村内求人・給料表と併せて適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2	オンライン双方向授業支援モデル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9		
事業内容	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導及び、ICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施し、児童生徒の学力向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	12000	12,000	14,500	14,500	14,500
		(b)予算現額	11500	12,000	13,500	13,500	13,382
		(c)増減額(b-a)	▲500	0	▲1,000	▲1,000	▲1,118
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
		A.計(b+d)	11,500	12,000	13,500	13,500	13,382
		B.執行済額	11,000	10,108	12,331	12,641	13,382
		うち交付金充当額	8,799	8,087	9,865	10,112	10,705
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	95.7%	84.2%	91.3%	93.6%	100.0%
予算の状況の説明	自然災害や生徒の体調不良等により授業ができなくなり1,118千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	オンライン双方向授業講師:10人	目標	(10人)	(10人)	(10人)	(10人)	
		実績	15人	14人	16人	20人	
	オンライン双方向授業受講生徒:35人	目標	(35人)	(35人)	(35人)	(35人)	
		実績	35人	32人	27人	21人	
達成状況説明	島の子ども達に高い教育を幅広く受けれる環境を整えるために無料で受講できる環境を整え受講生徒数は21人となっているがオンライン双方向授業は学年単位で実施していることから、これまでと同様な活動を行えた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	令和2年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差		目標	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	()
	①小学校 県平均以上 ・3年生:算数 ・4年生:算数 ・5年生:算数、国語、理科 ・6年生:算数		実績	平均以下 県 61.2% 村 56.0%	平均以下 県 58.0% 村 44.2%	実施無し	
	令和2年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差		目標	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	()
	①中学校 県平均以上 ・1年生:数学 ・2年生:数学、国語、社会、理科、英語		実績	平均以上 県 50.2% 村 52.5%	平均以上 県 54.3% 村 60.2%	実施無し	
	進捗状況説明	新型コロナウイルスの影響により令和2年度は沖縄県学力到達度調査は行われなかったが、コロナの影響を受けないオンライン授業を用いて行っている本事業のより教育環境格差の解消に繋がった。又、高校受験も全員合格という実績を得られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	オンライン双方向授業による現役東大生の指導についてこれない子どもについては、村営塾の学習支援員による個別指導により引き続き対応を行っていく必要がある。	オンライン双方向授業による現役東大生の指導についてこれない子どもについては、村営塾の学習支援員による個別指導により個々の学習能力に応じた対応をしており、改善の必要はないものと考えられる。
今後の取り組み方針		
引き続きオンライン双方向授業の講師や村営塾の学習支援員と連携を図りながら、個々の学習能力に配慮したきめ細やかな対応を行うことにより、全体のレベルの底上げが行えるよう取り組んでいく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,417	13,382	10,705	2,677	35

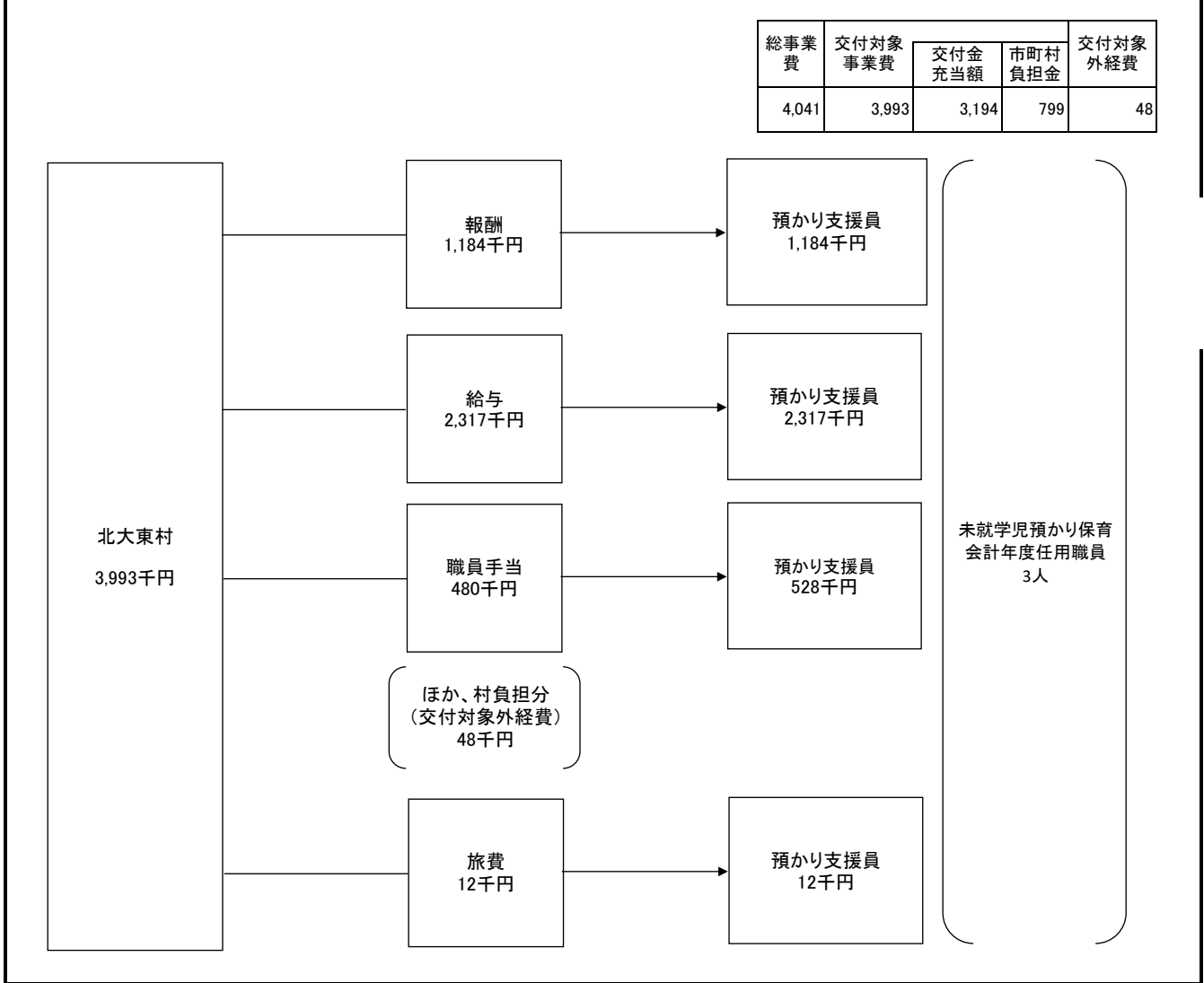


資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、オンライン授業を実施しているのは1社のみとなっており、随意契約による契約は妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ			
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9			
事業内容	未就学児や幼稚園児の預かり保育支援員を配置し、預り保育を行い、保護者の育児への負担感を軽減する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	8000	7,000	9,500	9,500	9,500	
		(b) 予算現額	7000	7,125	7,500	6,000	3,993	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,000	125	▲ 2,000	▲ 3,500	▲ 5,507	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
		A. 計(b+d)	7,000	7,125	7,500	6,000	3,993	
		B. 執行済額	6,236	6,967	7,138	5,428	3,993	
		うち交付金充当額	4,988	5,574	5,710	4,342	3,194	
		次年度繰越額	0	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	89.1%	97.8%	95.2%	90.5%	100.0%	
予算の状況の説明	子供の増加に伴い預かり保育の支援員の増員を予定していたが、一年間継続した人材の確保をすることができず5,507千円を減額した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況						
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
		預かり保育支援員配置:5名	目標	(2人)	(4人)	(5人)	(5人)	
			実績	4人	延べ9人	延べ6人	3人	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	子供の増加に伴い預かり支援員を5人予定していたが島のマンパワー不足やコロナ禍での島外からの人員確保ができず3人の支援員の配置となったため、幼児が増える午後などに村職員を派遣して対応した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)		
		対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		95%	91%	81%	
		【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
			実績					
		進捗状況説明	アンケートにより、本事業で預かり保育事業実施により、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたとの意見を多くの保護者から頂いた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	昨年度に引き続き、保護者から預かり対象年齢の引き下げ要望があった。	新たな園舎の開園に伴い0歳からの受入れが可能となった。
今後の取り組み方針		
複合型施設において預かり支援員として従事していた人たちを子ども園の支援員として配置し環境変化を少しでも和らげて子供たちが安心して過ごせる環境を整えていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



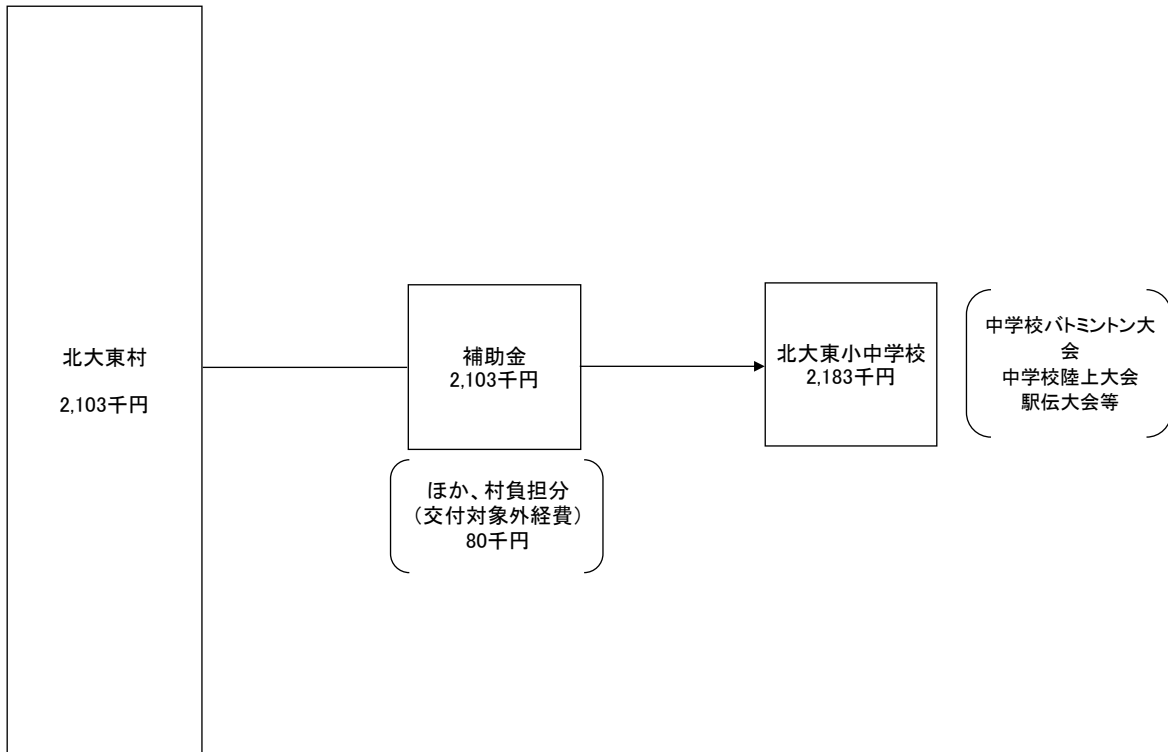
資金の流 れ、費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員については、村内求人・給料表に併せて適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	離島の児童生徒の交流促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9		
事業内容	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学習における派遣渡航費の補助支援を行い、競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3500	2,000	3,000	3,000	4,000
		(b) 予算現額	2100	1,875	3,000	3,715	2,103
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,400	▲ 125	0	715	▲ 1,897
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		2,100	1,875	3,000	3,715	2,103
	B. 執行済額		1,769	1,775	2,633	3,598	2,103
	うち交付金充当額		1,415	1,420	2,106	2,878	1,682
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		84.2%	94.7%	87.8%	96.9%	100.0%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により大会等が中止や縮小になったことに伴い、1,897千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	渡航助成の実施		目標 (助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
			実績	実施	実施	実施	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	スポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会、駅伝大会)による県内への移動費助成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	派遣された児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	89%	100%	77%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	新型コロナウイルスの影響により各種文化系の交流が中止になったことが目標値を下回った要因と考える。その一方、スポーツ大会派遣については無観客ながら実施しており、その結果今まで経験できなかったことを経験し広い視野の向上に繋がる成果が得られた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響により昨年度より4件少ない渡航費補助支援となった。	次年度においても今年度と同様な状況になることが予想されるためモチベーションを落とさない取組や、別の機会で披露できる環境も必要ではないかと考える。
今後の取り組み方針		
<p>今後は学校や教育委員会、PTA等と話し合いを持ち様々な可能性を模索していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,183	2,103	1,682	421	80



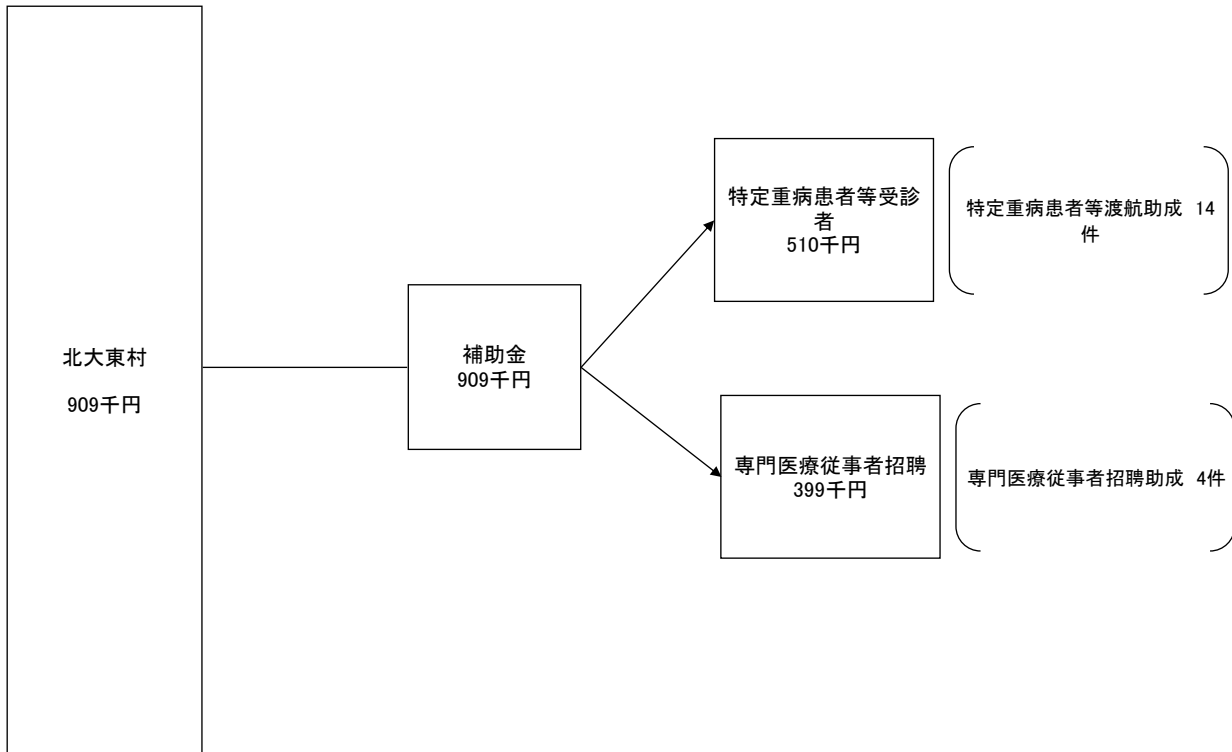
資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助金支出先について、生徒指導を実施しているのは1団体のみとなっており、選定は妥当であった。</p> <p>○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。</p> <p>○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	離島特別医療質確保推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部署名	福祉衛生課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9		
事業内容	離島の不利益を克服し、特定重病患者等の健康を守るため、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部助成や、島内に招聘し健康増進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3000	3,500	3,500	3,500	3,500
		(b) 予算現額	3124	3,500	3,500	2,288	909
		(c) 増減額(b-a)	124	0	0	▲ 1,212	▲ 2,591
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	3,124	3,500	3,500	2,288	909
		B. 執行済額	2,547	2,615	2,976	1,821	909
		うち交付金充当額	2,037	2,092	2,381	1,456	726
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	81.5%	74.7%	85.0%	79.6%	100.0%
	予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響により予定していた招聘の取消等が発生した為、2,591千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	特定重病患者の検診助成の実施	目標	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	専門医療従事者招聘助成の実施	目標	()	()	(助成の実施)	(助成の実施)	
実績				実施	実施		
達成状況説明	事業制度の周知を図り、島内で受診対応出来ない、特定重病患者等の検診(16人/30回)に係る医療サービスを受ける際の沖縄本島への渡航移動費助成を行った。 また、専門医療従事者を招聘(1人/4回)して相談・検診(41人/50回)を行うことにより、村民の心身の健康に関する不安を解消した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	渡航費支援が必要な人への支援率:100%	目標	()	(100%)	(100%)	(100%)	()
		実績		100%	100%	100%	
	心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			100%	100%	
進捗状況説明	支援が必要な方へ制度説明を行い、申請のあった方全てに対して支援を行った。 ※支援率=(渡航支援した人)/(島外での診療が必要と診断された人)						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響により昨年度より専門医療従事者の招聘回数が4人/16回少なく、村民の相談・検診の件数も56人/78回減少した。	コロナ禍であっても実施できるような環境や体制を整える必要がある。
今後の取り組み方針		
島民の要望等に沿えるような形で今後も心身の健康に関する不安を解消していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
909	909	726	183	0



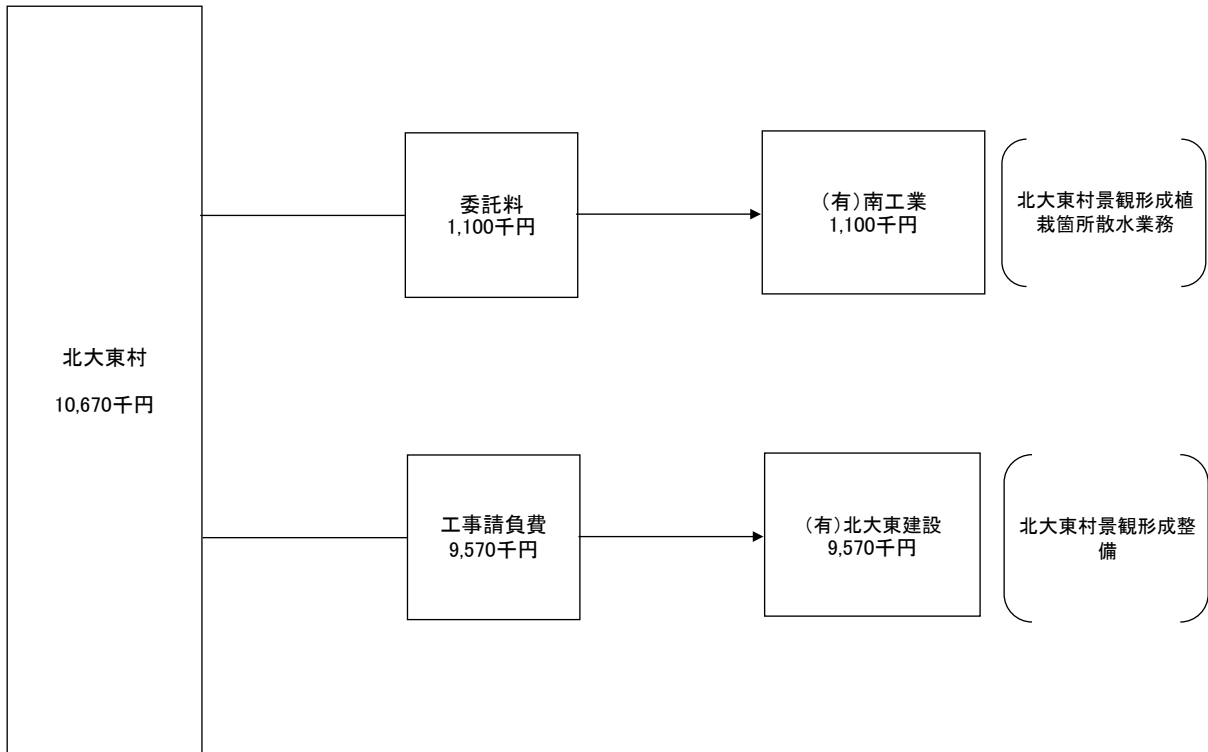
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受診証明書・搭乗確認書等にて選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4	北大東村景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備(伐採・植栽)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H29年度	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	
		7100	37,600	—	10,000	10,000	
		10100	39,692	—	10,000	10,670	
		3,000	2,092	—	0	670	
		—	—	5,000	—	—	
	B. 執行済額	9,504	34,692	4,730	9,845	10,670	
	うち交付金充当額	7,603	27,753	3,784	7,876	8,536	
	次年度繰越額	0	5,000	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	94.1%	87.4%	94.6%	98.5%	100.0%	
	予算の状況の説明	景観整備(伐採・植栽)個所に想定外の盛土等を行う必要が生じたことに伴い、670千円増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	村一周海岸道路の植樹環境整備:1,000m		目標 (700m)	(1,000m)	(300m)	(300m)	
			実績	700m	1,000m	300m	300m
	過年度実施個所の給水		目標 ()	()	(給水の実施)	(給水の実施)	
		実績		給水の実施	給水の実施		
達成状況説明	マリンレジャー施設や観光ガイド施設等の観光基盤整備と合わせて、景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを地域性にあった植樹・環境に整備することにより観光誘客を図る。今年度は江崎港周辺の景観形成の環境整備を行った。全長9,000m 進捗率40.56%						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	村一周海岸道路の植樹環境整備 植樹工事等の完了:300m(現進捗率37.22%(全長9,000m))		目標 ()	(1,000m)	(300m)	(300m)	()
			実績	1,000m	300m	300m	
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	97%	93%	83%	
進捗状況説明	景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを、江崎港周辺(300m)整備を行った。整備対象は全長9,000mであり、令和3年度の整備完了を目標としている。平成26年度から計3,650mを整備済みであり、進捗率については、40.56%となっている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	文化的景観地区であり、島の観光資源である燐鉱貯蔵庫付近のギンネム等の雑草が景観を悪くしていることが課題となった。	島の観光資源である燐鉱貯蔵庫付近の景観形成を行うことが更なる観光誘客に必要と考える。
今後の取り組み方針		
既存の岩礁や風景などを活かしつつ、島の観光資源である燐鉱貯蔵庫付近の植樹・景観形成整備を実施し更なる観光誘客に繋げる。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
10,670	10,670	8,536	2,134	0



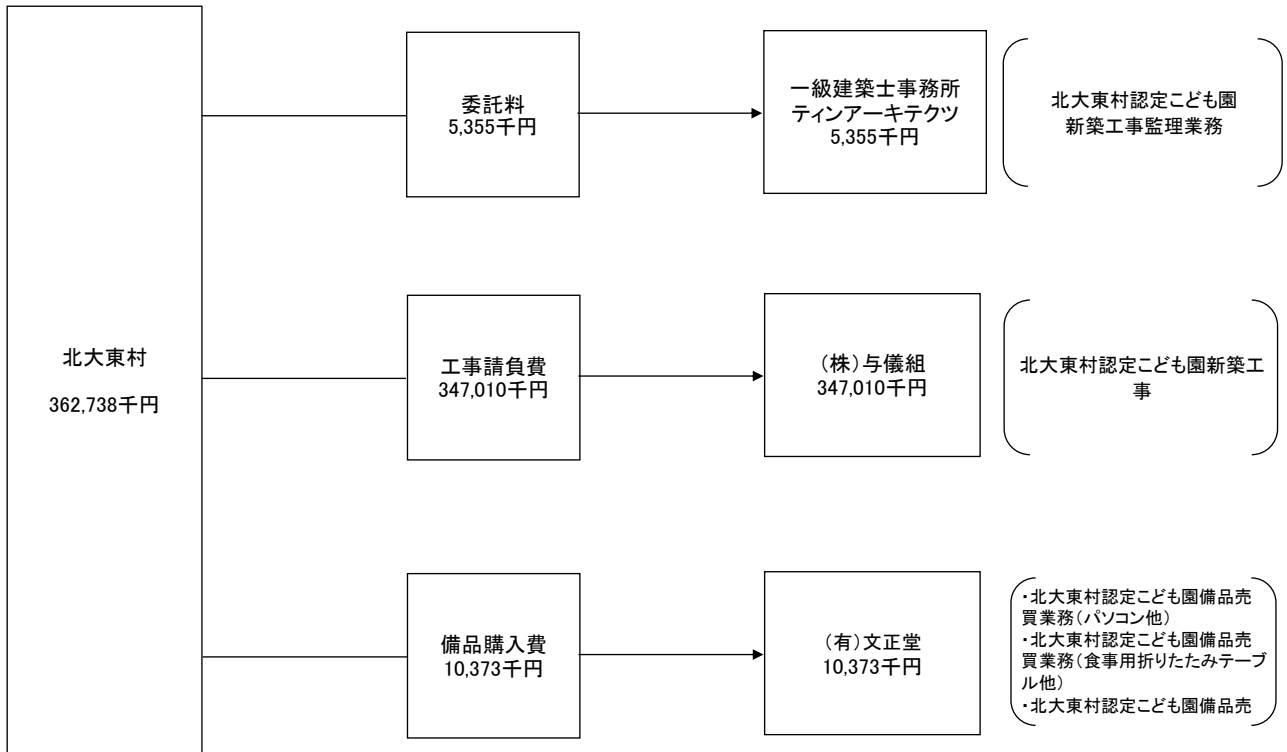
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6	北大東村認定子ども園整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	福祉衛生課	事業実施(予定)年度	平成30~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-4		
事業内容	認定子ども園を整備する						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	26000	-	142,250	364,394	
		(b)予算現額	26000	-	142,250	364,394	
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	0	0
		(d)繰越額	-	10,000	-	-	
		A.計(b+d)	26,000	10,000	142,250	364,394	0
		B.執行済額	15,380	10,000	142,250	362,738	
		うち交付金充当額	12,304	8,000	113,800	202,737	
		次年度繰越額	10000	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	59.2%	100.0%	100.0%	99.5%	#DIV/0!
予算の状況の説明		不用額の1,656千円は、入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	認定子ども園の施設整備		目標 (実施設計の完了)	(施設整備の一部完了)	(施設整備の完了)	()	
			実績 実施設計の完了	施設整備の一部完了	施設整備の完了		
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	平成30年度に実施設計を完了し、令和2年度で工事を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	認定子ども園の施設整備		目標 ()	(実施設計の完了)	(施設整備の一部完了)	(施設整備の完了)	()
			実績	実施設計の完了	施設整備の一部完了	施設整備の完了	
	【参考指標】(保育部分) ・待機児童0 (幼稚園部分) ・発育度が向上したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	()	()	()	(・0人 ・80%以上)
			実績				
	進捗状況説明	令和2年度に施設完成予定であり、令和3年4月より施設利用開始を予定しているため令和3年度より目標を設定した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和3年度開園に備え開園時間や職員配置等子ども・子育て会議を開催して開園に備える必要がある。	会議の中で幼児たちが新たな環境に馴染みやよくなるように環境を整えておく必要があるのではないかとの意見があった。
今後の取り組み方針		
預かり支援員として従事していた人たちを子ども園の支援員として配置し環境変化を少しでも和らげて子供たちが安心して過ごせる環境を整えていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
#####	362,738	202,737	#####	0



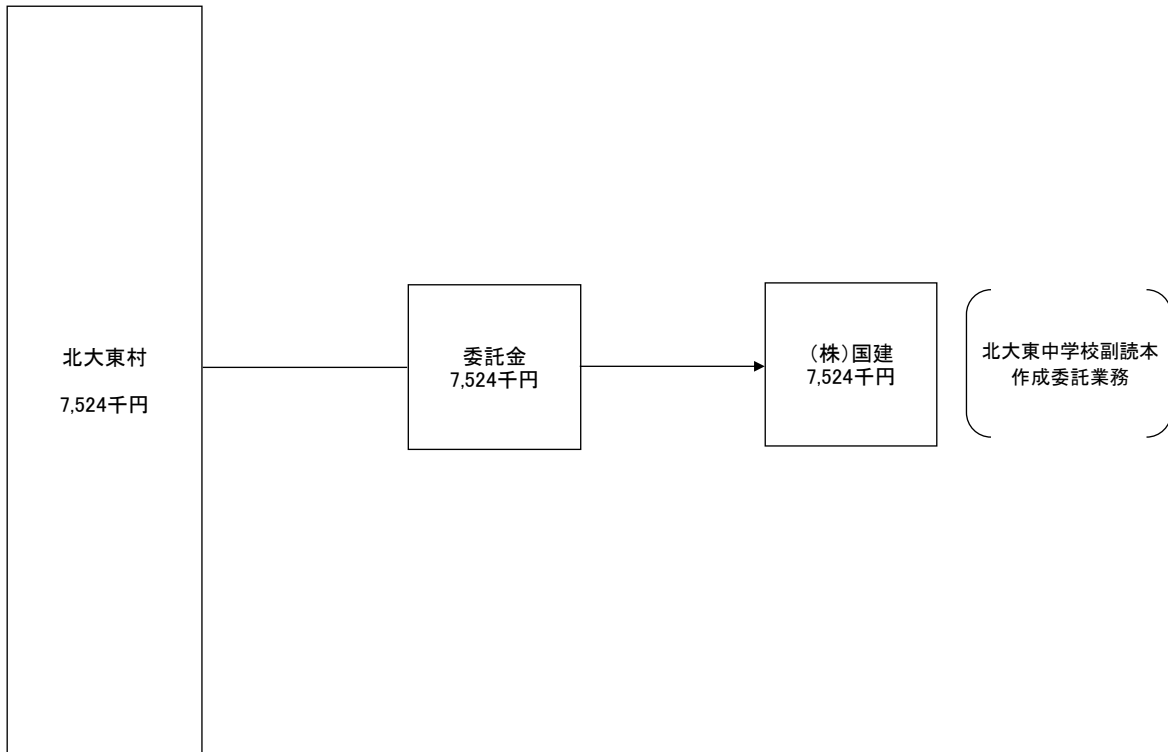
資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7	北大東小中学校地域副読本制作事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-イ	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	令和元年～令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化の担い手の育成	
事業内容	北大東島の歴史・文化をまとめた副読本を制作する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		9768	7,524				
		9768	7,524				
		0	0	0	0	0	
		-	-				
	B.執行済額		9,768	7,524			
	うち交付金充当額		7,814	6,019			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明		事業計画通り、副読本の制作を行った。				
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	北大東島の歴史・文化をまとめた副読本の制作	目標	小学3,4年、5,6年生用の制作の実施	中学生用の制作の実施	()	()	
		実績	制作の実施	制作の実施			
	副読本を使用した授業の開始	目標	()	小学3,4年、5,6年生の授業の開始	()	()	
実績			授業の開始				
達成状況説明	令和2年度に中学生用の副読本を制作した。 令和元年度に制作した小学3,4年、5,6年生の副読本を活用した授業を開始した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	北大東島の歴史・文化をまとめた副読本(中学生用)の制作	目標	()	(制作の完了)	(制作の完了)	()	()
		実績		制作の完了	制作の完了		
	北大東島の歴史・文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、児童、生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			100%		
進捗状況説明	令和元年度に制作した小学3,4年、5,6年生の副読本を活用した授業を行った児童へアンケートをとった結果、回答のあった全員が北大東島のことがわかったと回答があった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和2年度実施分の中学生用の副読本を制作し、令和3年度より授業で使用予定である。	卓上での学びだけではなく資料館等との連携した学びの環境を整えていく必要がある。
今後の取り組み方針		
より郷土学習の楽しさを提供するために見て学べる環境の整備を含め検討していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,524	7,524	6,019	1,505	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者はコロナ禍であり指名競争を行うことが困難であったため見積結果により最低価格の者と随意契約を行っており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	